福井アリーナ（仮称）
整備・運営に関する事業計画（案）

2025年8月19日

福井商工会議所

目次

Ⅰ．福井アリーナ事業について
（１）整備目的 ・・・2
（２）整備・運営方針 ・・・3
（３）アリーナコンセプト ・・・4
（４）整備イメージ ・・・7
Ⅱ．アリーナ施設の概要
（１）整備概要（暫定） ・・・8
（２）機能および諸条件 ・・・9
Ⅲ．アリーナ整備のイメージ
（１）配置計画・動線イメージ ・・・ 10
（２）平面イメージ ・・・ 11
（３）座席配置イメージ ・・・ 13
Ⅳ．整備・運営の概要
（１）整備・運営スキーム ・・・ 14
Ⅴ．事業収支
（１）事業費及び資金調達計画 ・・・ 15
（２）利用想定 ・・・ 16
（３）事業収支計画 ・・・ 17
Ⅵ．経済波及効果 ・・・ 18
Ⅶ．開業までのスケジュール ・・・ 19

（1）整備目的

北陸新幹線開業後のさらなる交流人口の拡大と、地域経済の持続可能な発展につなげる 多目的アリーナによる『県都再生』

・ **福井駅周辺の交流人口拡大とにぎわい創出**

令和6（2024）年3月の北陸新幹線福井県延伸を見据え、福井商工会議所、福井県、福井市の3機関からなる県都にぎわい創生協議会が設立され、令和4（2022）年秋に県都グランドデザインが策定されました。
グランドデザインでは福井県の玄関口である福井駅周辺の交流人口を拡大させ、にぎわいを醸成するための各施策が強く打ち出され、アリーナ構想はその中核をなす施設として位置づけられています。

・**県都のにぎわいづくりと地域経済の活性化**

建設候補地の福井市東公園は福井駅から極めて近く、**スポーツだけにとどまらず、コンサートやMICEなど、アリーナを核として県内外から多くの人が福井駅周辺に集まることで、県都のにぎわいづくりと地域経済の活性化が期待されます。**
アリーナへの来場は、県内全域への新たな人の流れを生み出す大きなチャンスです。
来場者が県内を周遊することで、地域全体が活性化することに繋がります。

・**福井の活力とシビックプライドの醸成**

スポーツにおいては、福井県初のプロバスケットボールクラブ「福井ブローウィンズ」がB3制覇、B2の試合でもかつてない盛り上がりを見せております。**会場の熱気と興奮、ファン同士で感動を共有する姿こそが福井の活力、シビックプライドの醸成につながるものと確信しております。**

北陸新幹線福井開業によりできた人流をさらに福井県全域に波及し、にぎわいの風を巻き起こす。
アリーナがその役割を担う拠点となるよう、官民が一体となった取り組みを進めて参ります。

（2）整備・運営方針

にぎわいの創出	プロスポーツの試合時は最大5,000席程度、コンサート等は需要を鑑み、最大4,500席程度を設け、様々な興行が開催できるアリーナを中心ににぎわいを創出する。 プロバスケットボールクラブ『福井ブローウィンズ』のホームアリーナを想定。メインアリーナは新B1（B.LEAGUE PREMIER）基準を満たすよう計画。
多世代交流の促進	プロスポーツだけでなく、ライブやコンサート、セミナーやコンベンション、展示会、地域イベントといったMICE等の開催により、県内外の多世代が集い、交流できる県都にふさわしい施設をつくる。
防災機能への貢献	災害時における帰宅困難者支援や物資の一時集結等の役割を担うことで、行政、地域と連携しながら地域の防災機能の強化を図る。
地域共生の推進	周辺の良好な住環境の維持・保全に最大限配慮し、地域共生のモデルとなるアリーナ運営を行う。
コスト意識の徹底	アリーナの設備機能、および各スペースは効率的な計画とし、延床面積を極力抑え、合理的かつローコストな計画とする。

にぎわいの創出

多世代交流の促進

防災機能への貢献

（3）アリーナコンセプト①

まちに開かれまちとつながる地域交流拠点

「歩きたくなる」まちとして地域を盛り上げる、
まちに開いた365日県民・市民でにぎわう、自然と立ち寄りたくなるアリーナ

・プロスポーツやコンサートをはじめとした
様々なイベントの開催を通じて、立地を活かした
集客を図ることで、まちなかににぎわいを創出する。

・広場に面して、エントランスホールやサブアリーナ、
ショップ等を整備し、日常的に開かれた施設とすることで、
多様な人々、多世代の人々の地域交流拠点とする。

・他にはない独自の演出で福井らしさを創出し、
中規模でもキラリとひかるアリーナを目指す。

（3）アリーナコンセプト②

まち全体に広がるにぎわいの風を、アリーナから巻き起こす

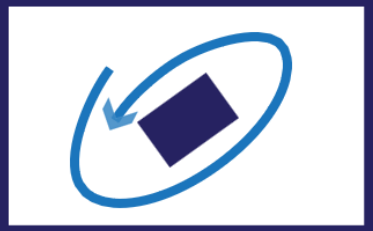
福井ブローウィンズの新たなホームアリーナ
クラブの“世界観”を体現するアリーナデザイン

BWS FUKUI BLOWINDS

◇クラブキャッチフレーズ
福井に吹く（BLOW）＋ 風（WIND）
吹く、いい風

◇クラブスローガン
ともに巻き起こそう、とてつもない旋風を。

CONCEPT DIAGRAM

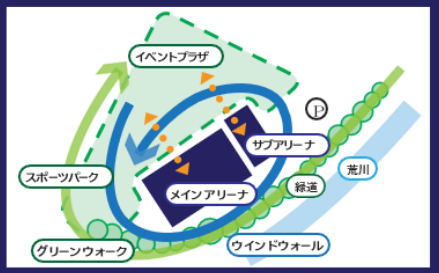


アリーナを中心に風をおこす

ふくい旋風
whirlwind of Fukui

0 1 市民を巻き込む、みんなで盛り上げる、共に創りあげる
0 2 Bリーグに巻きおこす、新たな旋風
0 3 福井市内に吹き込む、プロスポーツという“新たな風”

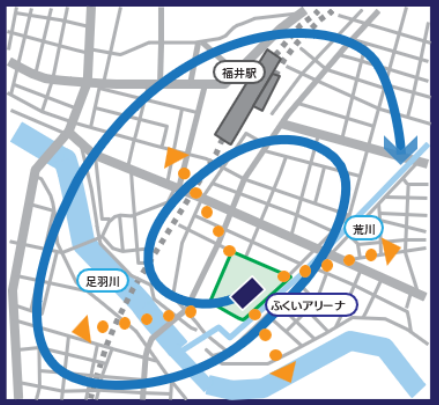
ARENA DESIGN



アリーナを風のように取り囲む、
“ウインドウォール”と“グリーンウォーク”

0 1 広場に開いたエントランスホールやサブアリーナ、ショップ
0 2 市民を引き込み、雪から守る“ウインドウォール”
0 3 周囲を取り囲む、緑豊かな外部空間“グリーンウォーク”

EFFECTS ON CITIES



市内に吹き込む、“ふくい旋風”
まち全体に広がるにぎわいの発信！！

（3）アリーナコンセプト③

アリーナが巻き起こすにぎわいの風を県全体へ

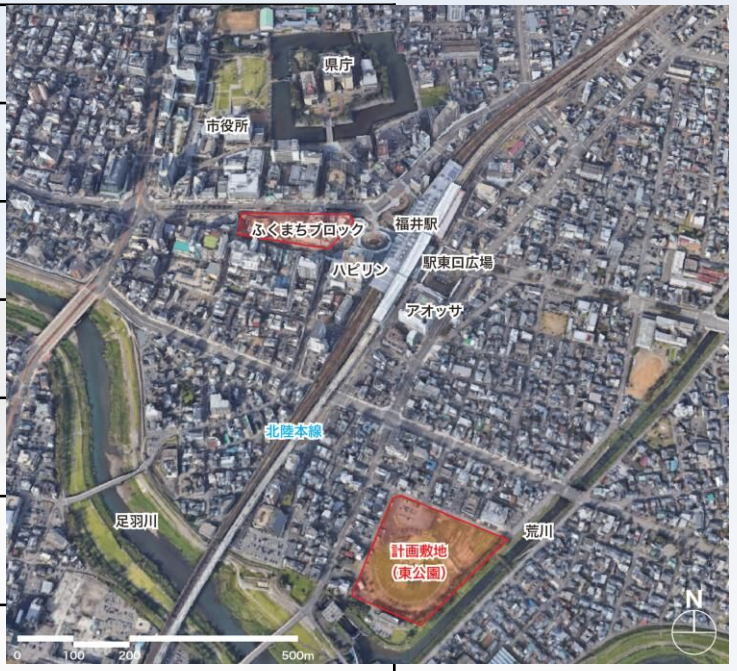
・これまで福井になかった演出やイベントにより、県民が楽しみ心躍る体験を提供するとともに県外から人を呼び込むアリーナへ。

・来場者に対し、県内観光地やその時々のイベント情報を発信し、アリーナから県内全域へ人の流れを巻き起こす。

（4）整備イメージ

（1）整備概要（暫定）

名　称	福井アリーナ（仮称）
計画地	福井市東公園内
所在地	福井県福井市豊島2丁目5
延床面積	約13,000㎡
建築面積	約8,250㎡
施設規模	メインアリーナ、サブアリーナ、 その他付属諸室
構　造	鉄筋コンクリート造 一部　鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造
騒音・振動対策	周辺住宅街からの距離を確保したアリーナ配置
付帯設備	大型映像装置等、吊物機構設備、メインアリーナ音響設備、 Wi-fi、キャッシュレス決済、デジタルサイネージ等
席　数	プロスポーツ時：約5,000席、コンサート時：約4,500席



（2）機能及び諸条件

競技機能	メインアリーナ、サブアリーナ、更衣室、倉庫器具庫等 ※参考（メインアリーナ）：バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン10面 参考（サブアリーナ）　：バスケットボール1面、バレーボール1面、バドミントン3面
観客機能	プロスポーツ時（約5,000席）、コンサート時（約4,500席） トイレ、飲食物等の販売スペース、授乳室、エントランスホール、コンコース等
VIP機能	貴賓室、BOX席、スイートラウンジ ※各種レギュレーションに対応する諸室
運営機能	大会運営室、控室、医務室等 ※各種レギュレーションに対応する諸室
メディア機能	記者会見室、メディア控室等 ※各種レギュレーションに対応する諸室
施設管理機能	事務室、機械室等
防災機能	非常用発電設備等（一時避難対応等）
その他機能	共用部（通路・階段等）、駐車場（関係者、障がい者専用）、駐輪場

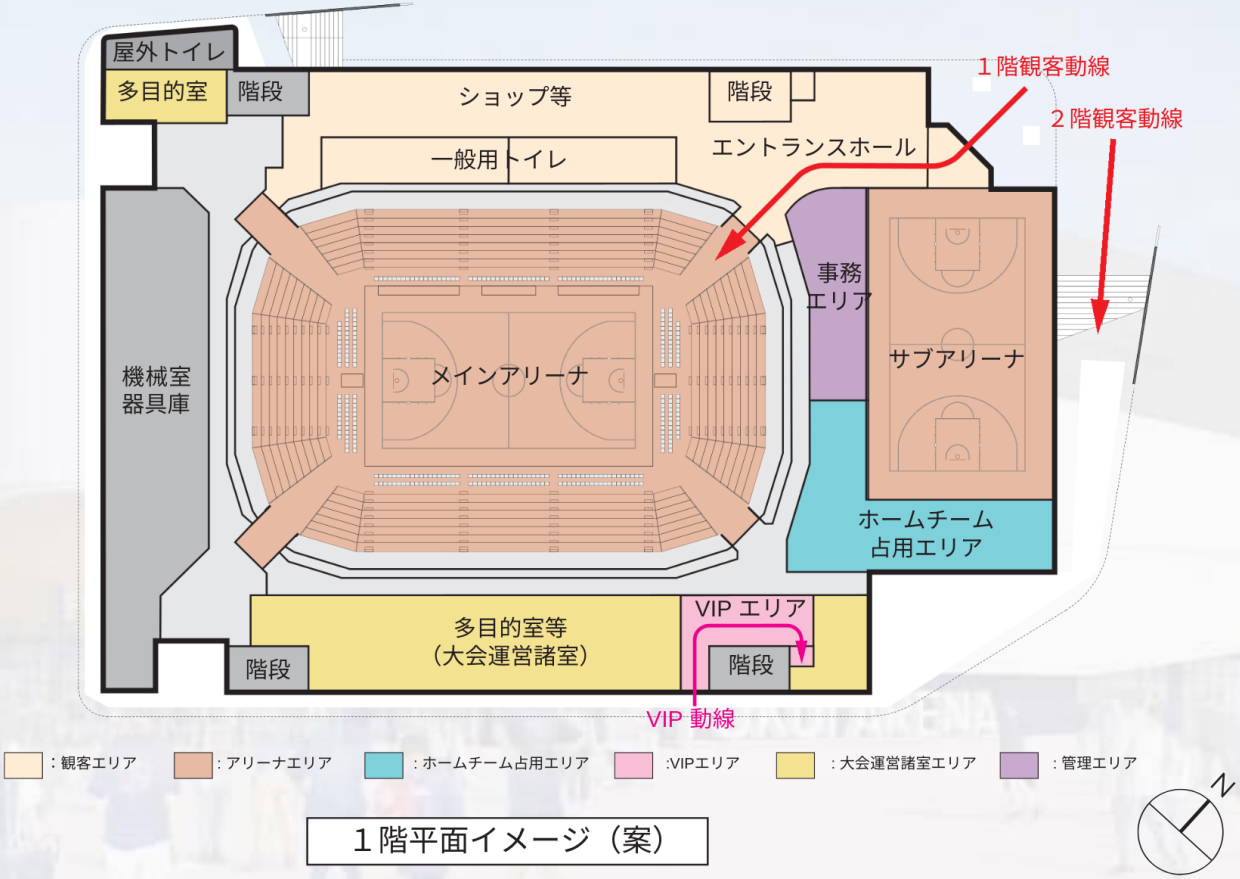
（1）配置計画・動線イメージ

【配置計画上の配慮】
・歩行者動線と関係車両動線を明確に分離した、安全な動線計画
・周辺住宅街からの距離を確保したアリーナ配置
・住宅地への車両の出入りを抑えた、荒川沿いの駐車場配置

【アリーナ設計上の配慮】
・日常的な利用を想定し、広場に面してエントランスホールやサブアリーナ、ショップ等を整備
・周囲に音が漏れにくい、鉄筋コンクリート造の外壁

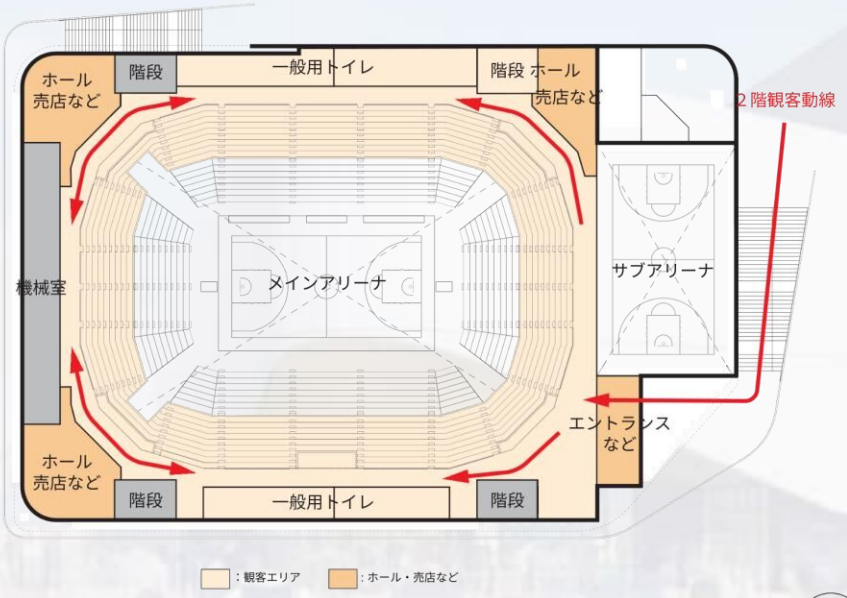
【防災上の配慮】
・災害時における帰宅困難者や物資の一時集結等の役割を担うアリーナ
・大地震時の損傷を抑えることを目標とした、耐震安全性Ⅱ類のアリーナ

（2）平面イメージ①

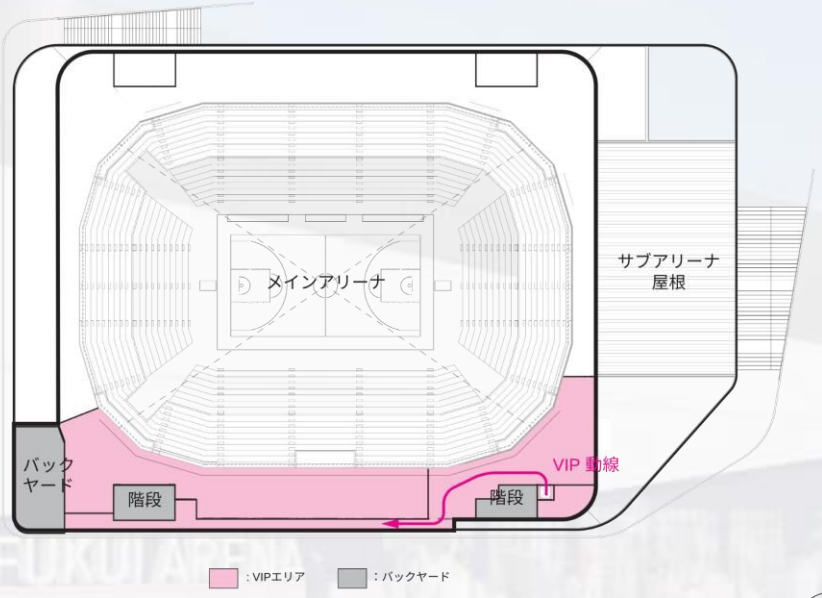


1階平面イメージ（案）

（2）平面イメージ②



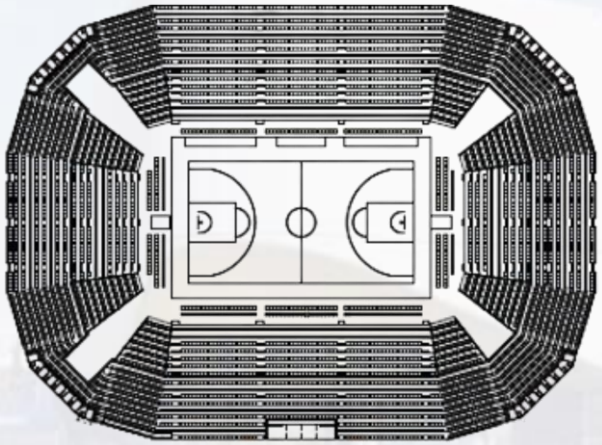
２階平面イメージ（案）



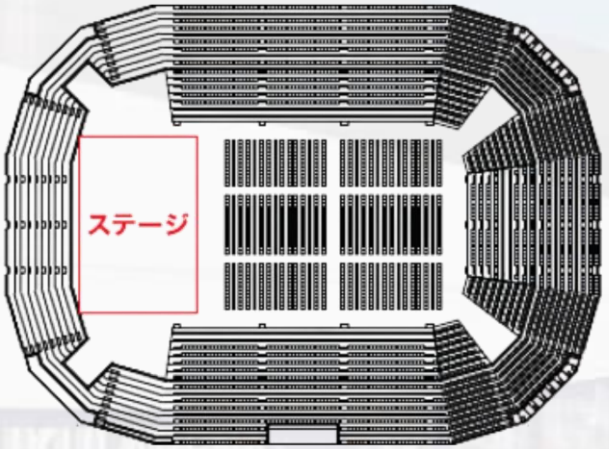
３階平面イメージ（案）

（3）座席配置イメージ

▼メインアリーナ
コート囲い型座席配置
（プロスポーツ時）約5,000席



▼メインアリーナ
ステージ型座席配置
（コンサート時）約4,500席



（1）整備・運営スキーム

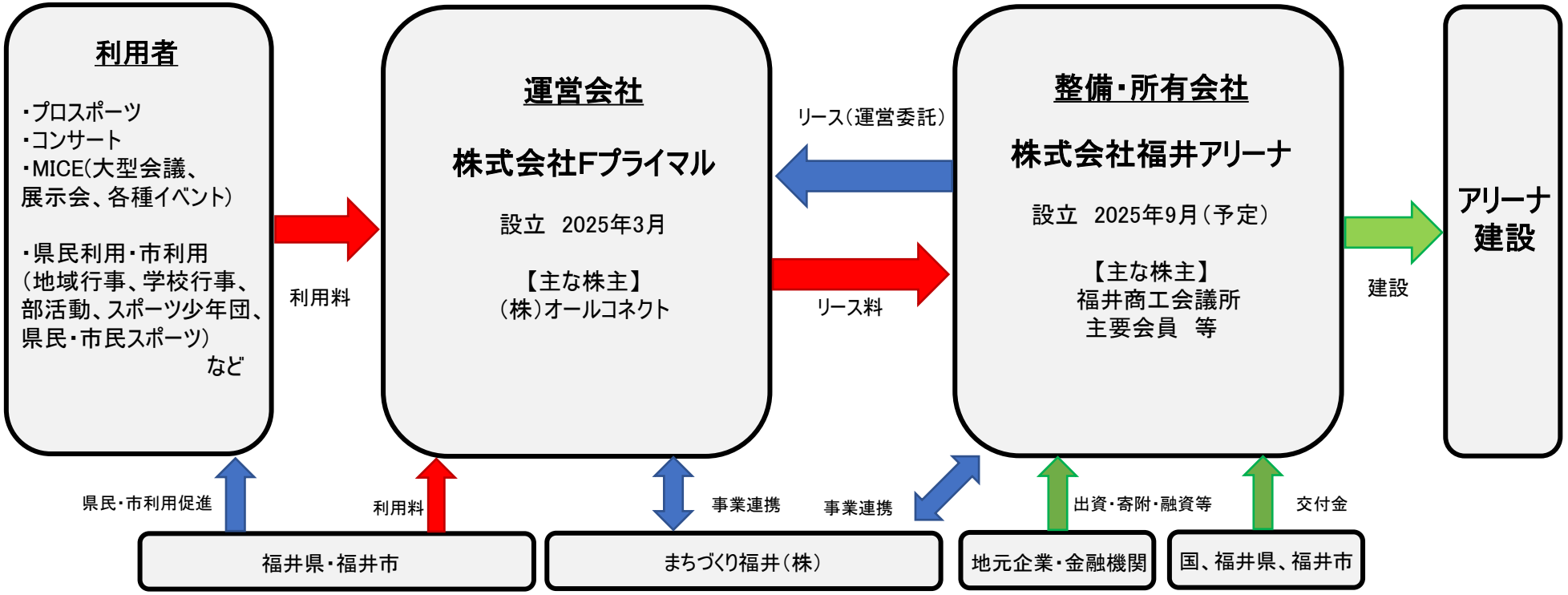
福井県
スポーツやイベント等の県民参加機会の創出、大型スポーツ・文化イベントの開催支援

まちづくり福井（株）
整備・所有会社、運営会社とともに、アリーナを通じて、県民市民が楽しめる魅力的なコンテンツで、まちの賑わいを創出

運営会社
アリーナの運営権を借受け、プロスポーツやコンサート、MICE等、多くの県民市民が熱狂できる魅力的なコンテンツや空間を提供

整備・所有会社
アリーナの整備主体。地元経済界が新会社を設立。民間ノウハウによるコスト効率性を徹底し、県民市民に親しまれるアリーナを整備

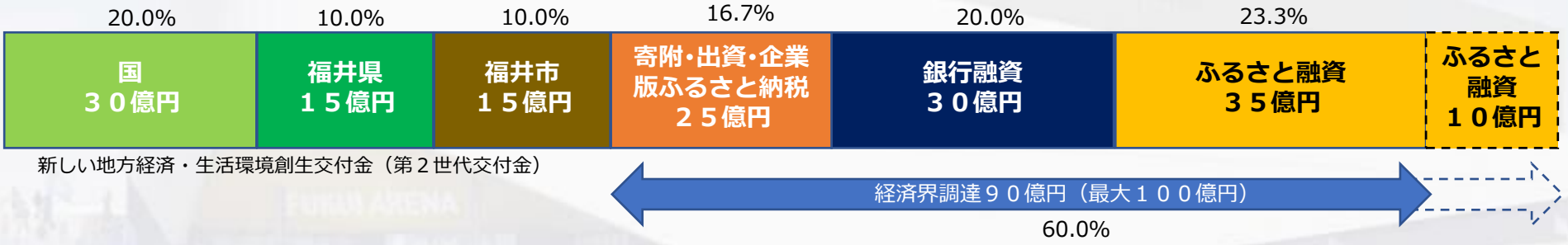
福井市
土地の貸付、周辺整備、都市計画の変更など民間事業の整備・運営及び周辺地域の生活環境への配慮。市主催事業を開催し市民の利用機会を創出



（１）事業費および資金調達計画

【事業費】

【資金調達計画】



（2）利用想定

用途	利用日数	利用想定
プロスポーツ	63日＋α （32試合＋準備31日程度）	Bリーグ （Vリーグ、Tリーグ等）
コンサート	24日＋α （12公演+準備12日程度）	国内外アーティストなど
MICE	60日＋α （36日＋準備24日程度）	展示会、企業・団体が開催する全国規模の会議、大会など
県民利用・市利用	134日＋α （県民利用（115日）＋市利用（19日））	県内学校の部活動、はたちのつどい、マーチング、各種スポーツ（フットサル、ハンドボール他）、ふくい桜マラソン、地域祭事など
メンテナンス	15日	―
合計	296日＋α	

プロスポーツ

コンサート

MICE（学会・講演会）

県民利用・市利用（地域の運動会）

県民利用・市利用（はたちのつどい）

（3）事業収支計画

運営会社
（株式会社Ｆプライマル）

【収入】（税別）　単位：百万円

メイン・サブアリーナ等使用料	246
VIPフロア使用料	118
県民利用料	164
市利用料	70
広告収入	52
売店・自販機等収入	74
合計	724

【支出】（税別）　単位：百万円

リース料	290
運営・維持管理費	265
広報費	15
VIP原価	83
売店等原価	55
合計	708
税引前利益	16

整備・所有会社
（株式会社福井アリーナ）

【収入】（税別）　単位：百万円

リース料	290
寄附・協賛	200
ふるさと融資保証料支援	40
合計	530

【支出】（税別）　単位：百万円

設備メンテナンス費	10
保険料	15
固定資産税	70
修繕・積立金	50
支払利息	52
ふるさと融資保証料	40
諸経費	11
合計	248
減価償却前利益	282

・本収支計画は、今後の事業計画の具体化や各種前提条件の変化に伴い、内容が変更となる可能性がございます。
・記載の単年度収支は、開業後3期目を想定した試算に基づいております。

Ⅵ. 経済波及効果

（１）　年間来場者数（見込）

３９万人

（２）　アリーナ建設（１５０億円）による建設期間中の経済波及効果

２１９億円（建設による効果）

（３）　アリーナ運営による経済波及効果

６１億円（建設による直接効果を除く）／年

● 算定基礎となる内訳は以下のとおり

※想定される消費額等の金額を基に福井県産業連関表で
第二次波及効果まで算出

	① 需要増加額	② 一次波及効果	③ 二次波及効果	②+③ 経済波及効果
経済波及効果	４８億円 ／年	５４億円 ／年	７億円 ／年	６１億円 ／年

Ⅶ. 開業までのスケジュール（案）

時　期	内　容
2025年8月	事業計画発表
2026年1月頃～	実施設計
2027年1月頃～	建設工事
2028年秋頃	アリーナ完成